

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：日本古辞書データベース構築入門 ILAS Seminar: Introduction to Building a Database of Old Japanese Dictionaries			担当者所属 職名・氏名	人文科学研究所 助教 劉 冠偉		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	15(10)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	火4	教室	人文科学研究所分館3番劉研究室(本部構内)			使用言語	日本語
キーワード	デジタル・ヒューマニティーズ / 日本語学 / 漢字情報処理 / 人文系データ / 人文情報学						
【授業の概要・目的】							
このゼミでは、日本の古辞書について学び、その特徴を理解します。また、コンピューター上での漢字処理の基礎技術を学び、人文系データをデジタル化しデータベースにまとめる技術を習得します。特に、日本古辞書に含まれる漢字情報の処理やデータベース構築を通じて、実際のデータ作成から利用に至るまでの流れを体験します。							
【到達目標】							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の古辞書の構造や内容に対する理解を深める。</li> <li>2. 漢字情報処理に関する基礎技術を習得する。</li> <li>3. データベース構築に関する技術を習得し、人文系データを効率的に扱う能力を身につける。</li> <li>4. チームまた個人ではデータセットを作成し、発表する経験を通じてデジタル・ヒューマニティーズの基礎を学ぶ。</li> </ol>							
【授業計画と内容】							
<p>第1回～第4回: 日本古辞書の紹介 古辞書の歴史的背景、代表的な辞書の紹介 古辞書の構造や内容、使用されている漢字の特徴について学ぶ</p> <p>第5回～第8回: 漢字情報処理入門 コンピューターにおける漢字の扱い方(文字コード、文字列処理など) 漢字データの入力、保存、検索方法の基礎を学ぶ</p> <p>第9回～第10回: データセット・データベース構築に関する技術 データベースの基礎概念 古辞書データのデジタル化およびデータセット作成</p> <p>第11回～第14回: 作成したデータセット・データベースを発表 各チームが構築したデータベースの発表 成果物のレビューとフィードバック</p> <p>第15回: まとめ 全体の振り返りとディスカッション データベース構築における今後の展望</p>							
ILASセミナー：日本古辞書データベース構築入門(2)へ続く							

ILASセミナー：日本古辞書データベース構築入門(2)

**[履修要件]**

授業時にノートPC持参

**[成績評価の方法・観点]**

プレゼンテーション:  
学期末に各チームがデータベースの作成内容について発表し、その内容をもとに評価を行います。  
個人およびグループでの貢献度も評価の一部に含まれます。

**[教科書]**

使用しない

**[参考書等]**

(参考書)

池田証寿 『日本辞書史研究: 草創と形成』 (汲古書院, 2024) ISBN:9784762936869

一般財団法人人文情報学研究所 (監修) 石田友梨 / 大向一輝 / 小風綾乃 / 永崎研宣 / 宮川 創 / 渡邊要一郎 (編) 『人文学のためのテキストデータ構築入門 TEIガイドラインに準拠した取り組みにむけて』 (文学通信, 2022) ISBN:9784909658845

The Unicode Consortium 『The Unicode Standard, Version 16.0.0』 (The Unicode Consortium, 2024) ISBN:978-1-936213-34-4 (<https://www.unicode.org/versions/Unicode16.0.0/>)

(関連URL)

[https://viewer.hdic.jp/\(HDIC Viewer 平安時代漢字字書総合データベース検索インタフェース\)](https://viewer.hdic.jp/(HDIC Viewer 平安時代漢字字書総合データベース検索インタフェース))

[https://jisho-goi.kojisho.com/\(字書語彙データベース\)](https://jisho-goi.kojisho.com/(字書語彙データベース))

**[授業外学修(予習・復習)等]**

受講にはPC操作の基本スキルが必須。  
JavaScript、Pythonなどのプログラミング言語の入門レベルが望ましい。

**[その他(オフィスアワー等)]**

研究室は北白川の人文研別館にありますので、メールでの連絡が楽だと思います。  
連絡先: liu.guanwei.8h@kyoto-u.ac.jp / liuguanwei2013@gmail.com